

浄土宗ハワイ開教区の御詠歌

岸松 信 宏基 猥下 作詞
濤 基 作曲

♩ = 60

みおし ーえは みおし ーえは とつ く に ハ ワ イ
ホ ノ ル ー ル の ホ ノ ル ー ル の べ つ い ー ん の に

〇 × × × 〇 × × 〇 〇 ×
に つたわりて 今日 の さ か えー
わ わかきひの わかきひの 祖師 の どう ぞー



ポイント注意

- 「弱起」の曲です。声の立ち上がりソフトに。
- 速度遅くならないように。4拍子のリズムを強調します。

浄土宗ハワイ開教区の御詠歌

浄土門主・総本山知恩院門跡第八十三世岸信宏猊下御作

み教えは とつくに布哇に つたわりて
今日の栄えを 見るがたうとき (ハワイ開教区)

ホノルルの 別院の庭 若き日の
祖師の銅像 厳然としてたつ (オアフ島ハワイ浄土宗別院)

ハレイワの 海辺のみ寺 あたらしく
御寺たつとて 式を行なふ (オアフ島ハレイワ浄土院)

花多き ハワイの島に その名さえ
極楽島という ありてうれしき (ハワイ島カーチスタウン浄土院)

- クロトンの 葉の美しき ヒロに来て
にわか雨に 会うもうれしき (ハワイ島ヒロ明照院)
- 四十日 ハワイの島々 めぐりえて
祖師の遠忌を つとむうれしき (ハワイ島ワイナク浄土院)
- み教えを ここにうちたて 七十年
けふよろこびの ハカラウの寺 (ハワイ島ハカラウ浄土院)
- 日系の 人達多く 眠る墓
鳳凰木の 大樹しげれり (ハワイ島ハマクア浄土院)
- 見晴るかす ハワイ三山 足もとに
ひろがる牧場 はてしも知らず (ハワイ島コハラ浄土院)
- 溶岩の 流れし中を 一筋の
道つらねけり サドル高原 (ハワイ島ハヴィ浄土院)
- 移り来て あたらしく建つ カフルイの
み寺美し 今日のよろこび (マウイ島カフルイ浄土院)
- そうそうと 流るる溪に たたずみて
イアオの針の 峰をあおげり (マウイ島ワイルク浄土院)
- ラハイナの 浜辺に立てば あかねさし
日は沈みゆく 島のかなたへ (マウイ島ラハイナ浄土院)
- 珊瑚礁 うちよす白き 波がしら
朝日に映ゆる カパアの海辺 (カウアイ島カパア浄土院)
- ハワイにて 日本に近き カワイ島
木木のしげりも なつかしきかな (カウアイ島コロア浄土院)
- (楽譜は 4 ページ)